ヤンマー、東京・八重洲に新ビル 企業文化の発信拠点に

#住建・不動産 #東京 #大阪

2023/1/12 20:12

ヤンマーの新ビルはJR東京駅の八重洲口から徒歩1分の距離にある（12日、東京都中央区）

ヤンマーホールディングス（HD）は12日、JR東京駅の八重洲口から徒歩1分の場所に新築したビルを公開した。地上14階、地下3階建ての複合施設で、低層階には直営レストランなどが入居するほか、稲作の歴史やコメの種類についてゲーム感覚で学べる展示物を設置した。

13日に開業するビルは「YANMAR TOKYO（ヤンマー東京）」。延べ床面積は約2万2000平方メートル。総工費は非公開としている。1階には農業やコメについて学べるスペースを設けた。入り口付近にはトラクターや、稲わらでできたヤンマーのロゴマークなどを展示している。

ヤンマー東京ではスポーツや文化、アートなどを通じて人を育てることなどを意味するヤンマーの価値観「ハナサカ」を伝える展示やイベントを計画する。開業式に出席した山岡健人社長は「ヤンマーのすべての活動を支え、人と未来を育む基盤であるハナサカの発信拠点としていく」と述べた。

入り口付近にはトラクターや、稲わらでできたヤンマーのロゴを展示している（12日、東京都中央区）

ヤンマーは自社ブランドを押し出した拠点を構えることで知名度の向上を狙う。同社が開発する製品はトラクターや産業用のエンジンなどBtoB（事業者向け）が多く、一般的な知名度は低いままだ。ブランド戦略を担当する長屋明浩取締役は「名前が知られていないと（製品が）選択肢にも入らず、大きな機会損失だ。ブランド向上が最も売上高につながる」と話す。

ヤンマーは1950年に八重洲に東京支店を構えた。77年には現在のヤンマー東京が立地する場所に地上11階、地下3階建ての複合施設「ヤンマー東京ビル」が竣工した。好立地を生かした新拠点づくりのため、2020年に新築工事に着手した。

関西セクショントップページはこちら